

Canon Satera LBP6300

かんたん設置ガイド

プリンターの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。P. 8
設置を始める前によくお読みください。

最初にお読みください。
ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

<Macintoshをお使いのお客様へ>
本書では、Windowsを例に説明しています。Macintosh用のプリンタードライバーやユーティリティの使いかたについては、「オンラインマニュアル」(HTMLマニュアル)を参照してください。また、プリンターの取り扱いやメンテナンス方法などについては、「e-マニュアル」(HTMLマニュアル)を参照してください。

「オンラインマニュアル」の表示方法
付属のCD-ROM内の [CAPT] - [Japanese] - [Documents] - [GUIDE-CAPT-IP] フォルダに取られている [index.html] をダブルクリックします。

「e-マニュアル」の表示方法
付属のCD-ROM内の [Manuals] - [Source] フォルダに取られている [index.html] をダブルクリックします。

Step 1 設置準備

同梱品がそろっているか確認する
不足しているものや破損しているものがあつたときは、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- プリンター
次のものが取り付けられています。
● 給紙カセット
● トナーカートリッジ
- 電源コード
- 保証書
- CD-ROM「LBP6300 User Software」
次のものが収められています。
● プリンタードライバー
● NetSpot Device Installer
● FontGallery
● e-マニュアル
● Macintosh用オンラインマニュアル
- ポケットガイド
- かんたん設置ガイド(本書)

LANケーブルやUSBケーブルは付属していません。
USBケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

設置場所を決める

温度/湿度条件

- ・ 温度範囲: 10~30 °C
- ・ 湿度範囲: 20~80 %RH (相対湿度・結露しないこと)

電源条件

- ・ AC100 V ± 10 %、15 A以上
- ・ 50/60 Hz ± 2 Hz

設置条件

- ・ 十分なスペースが確保できる場所
- ・ 風通しがよい場所
- ・ 平坦で水平な場所
- ・ 本プリンターの質量に耐えられる十分な強度のある場所

以下の各部の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください。

Step 2 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ

梱包材を取り外す * 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

- テープを取り外す
- オープンボタンを押して、前カバーを開ける
- 用紙を手前に倒す
- 梱包材を取り外す

P. 2に続く

- トナーカートリッジを取り出す
- 5 ~ 6 回振る
- 平らな場所に置き、タブを折る
約 48 cm
- シーリングテープを引き抜く
- 用紙付き梱包材を取り外す
- トナーカートリッジを取り付ける
左側面図 右側面図
奥に当たるまで確実に押し込む
- 前カバーを閉める

曲げて引いたり、上向きや下向きに引っばらない
正面図

Check!

梱包材はすべて取り外しましたか?

- テープ × 4
- 用紙付き梱包材 × 1
- 梱包材 × 1
- シーリングテープ × 1

捨てずに保管する (移転や移設、修理などのプリンター輸送時に必要になります。)

地域の条例にしたがって処分する

ペーパーフィーダーを取り付けて使用するとき
プリンターを設置場所に運ぶ前にペーパーフィーダーを設置してください。

ペーパーフィーダーを取り付けずに使用するとき
プリンターを設置場所に運んでください。

ペーパーフィーダーを取り付ける P. 7

設置場所に運ぶ

- 給紙カセットを引き出す
- 設置場所に運ぶ
左側面図
運搬用取っ手にプリンター前面から手を掛けて運ぶ
- 給紙カセットをセットする
しっかりと奥まで押し込む

Step 3 電源コードとアース線を接続する

- 電源が入っていないことを確認する
- 電源コードを差し込む
- アース線のキャップを外して、専用のアース線端子に接続する
- 電源コンセントに差し込む

続いて、用紙をセットします
A4サイズの用紙をご用意ください
Step6で、動作の確認のためプリンターステータスプリントを印刷します。
プリンターステータスプリントはA4サイズ用に設定されていますので、ここでは、A4サイズの用紙をセットしてください。

Step 4 給紙カセットに用紙をセットする

- 給紙カセットを引き出す
- セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動する
上面図 LTR/LGL 上面図
ロック解除レバーをつまみながら調整する
- 用紙を後端の用紙ガイドに合わせてセットする
印刷面を下にする
- 用紙をツメの下に入れる
- 給紙カセットをセットする
しっかりと奥まで押し込む

Check!
積載制限マークの線を越えないようにセットしてください。
ここまで

続いて、プリンタードライバーをインストールします

プリンターとコンピューターを接続する方法は?

- USB接続
- LAN接続
- プリントサーバーを経由 (Windowsのみ)
USBケーブル/LANケーブル LANケーブル

付属のCD-ROMに収められているe-マニュアル (HTMLマニュアル) を参照して、プリンタードライバーをインストールしてください。

Step5へ P. 4

Step 5 プリンタードライバーをインストールする

プリンターとコンピューターを接続する

USB接続の場合

- 電源が入っていないことを確認する
- 四角い側 (Bタイプ) をプリンターに接続する
- 平たい側 (Aタイプ) をコンピューターに接続する

ここではまだプリンターの電源は入れないでください。

LAN接続の場合

- LANケーブルを接続する
- 電源を入れる
- LNKランプが点灯していることを確認する
LNKランプ
100ランプ
100BASE-TXの場合は、100ランプも点灯します。

コンピューターの電源を入れて、管理者権限のユーザーでWindowsにログオンする
* Macintoshをお使いの場合は、「オンラインマニュアル」(HTMLマニュアル)を参照してください。

プリンタードライバーをインストールする

- 付属のCD-ROM「LBP6300 User Software」をセットする
- クリック
おまかせインストール
- クリック
- 使用許諾契約の内容を確認
- クリック
- Readmeファイルの内容を確認してから閉じる
- クリック

左の画面が表示されるとき 次の手順で表示します。
(ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピューターによって異なります。)

- Windows 2000/XP/Server 2003
① [スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
② 「D:\Japanese\Inst.exe」と入力して、[OK] をクリックします。
- Windows Vista/7/Server 2008
① [スタート] メニューの [検索の開始] または [プログラムとファイルの検索] に「D:\Japanese\Inst.exe」と入力します。
② キーボードの [ENTER] キーを押します。

[自動再生] が表示されたとき [AUTORUN.EXEの実行] をクリックします。

[ユーザーアカウント制御] が表示されたとき [続行] または [はい] をクリックします。

P. 5に続く

USB接続の場合

9 選択 10 クリック 11 クリック 12 次の画面が表示されたら、プリンターの電源を入れる

コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されたとき
コンピュータの再起動後にインストールをやりなおしてください。

LAN接続の場合

9 選択 10 クリック 11 クリック (お使いの環境によっては表示されません。)

12 [プリンター一覧] の [製品名] に表示されている内容によって、操作が異なります。

[LBP6300] と表示されている場合

1 選択 2 クリック

何も表示されない場合

付属のCD-ROMに収められているe-マニュアル (HTMLマニュアル) の「困ったときは」を参照してください。

[不明なデバイス] と表示されている場合

1 選択 2 クリック 3 IPアドレスを設定
DHCPを使用してIPアドレスを取得します。
(DHCPサーバーが起動されている必要があります。)

4 クリック

5 選択 6 クリック

直接IPアドレスを指定します。
(IPアドレスは「AAA.BBB.CCC.DDD」のように「.」で数字を区切って入力します。)

18 クリック 14 クリック 15 クリック

インストールが開始されます
(インストールに時間がかかることがあります。)

インストール結果を確認する

1 1 が付いていることを確認する 2 クリック 3 チェックマークを付ける 4 クリック

インストールが完了すると
デスクトップに [LBP6300 e-マニュアル] が作成され、いつでもe-マニュアル (HTMLマニュアル) をご覧いただけます。
プリンターの詳しい使いかたや、困ったときなどはe-マニュアルを参照してください。

「X」が表示されたとき
付属のCD-ROMに収められているe-マニュアル (HTMLマニュアル) の「困ったときは」を参照してください。

LBP6300 e-マニュアル

Step 6 用紙サイズの登録とプリンターの動作を確認する

用紙サイズを登録する

給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、次の手順で用紙サイズを登録してください。

1 クリック 2 クリック 3 選択 4 セットした用紙サイズを選択

カセット1
プリンター本体に標準の給紙カセット

カセット2
オプションのペーパーフィーダーの給紙カセット

5 クリック

プリンターの動作を確認する

プリンターステータスプリントを印刷して、動作を確認してください。 ※プリンターの動作の確認 (プリンターステータスプリントの印刷) は、Windowsをお使いの場合のみ行うことができます。

1 給紙カセットにA4サイズ用紙がセットされていることを確認する

2 選択 3 クリック

プリンターステータスプリントが印刷されます。

プリンターステータスプリントが印刷されないとき
e-マニュアル (HTMLマニュアル) の「困ったときは」を参照してください。

プリンターステータスプリントを印刷して、動作を確認してください。

プリンターのセットアップが終了しました

ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

Option ペーパーフィーダーを取り付ける

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき

ペーパーフィーダー

1 ペーパーフィーダーを箱から取り出す 2 テープを取り外す 3 給紙カセットを引き出す 4 設置場所に運ぶ

5 本体の給紙カセットを引き出す 6 本体を設置場所に運ぶ 7 プリンターをペーパーフィーダーにゆくりと載せる

8 給紙カセットをプリンターとペーパーフィーダーにセットする

コンピューターの電源を切る

プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外します

USBケーブル* LANケーブル*

電源コード

1 電源プラグを抜く 2 アース線を取り外す 3 プリンターから抜く

*接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

プリンター本体

5 本体の給紙カセットを引き出す 6 本体を設置場所に運ぶ 7 プリンターをペーパーフィーダーにゆくりと載せる

左側面図

運搬用取っ手にプリンター前面から手を掛けて運ぶ

続いて、次の手順にそって作業を進めます

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置したとき

- 電源コードとアース線を接続する P.3
- 用紙をセットする P.3
プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーにも用紙をセットしてください。
- プリンタードライバーをインストールする P.4
- 用紙サイズの登録とプリンターの動作を確認する P.6

ペーパーフィーダーをあとから設置したとき (プリンターをすでに使用しているとき)

- ケーブルやコードを接続する
取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。
- 用紙をセットする P.3
プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーにも用紙をセットしてください。
- 用紙サイズを登録する P.6

安全にお使いいただくために

本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず付属のCD-ROMに収められているe-マニュアル (HTMLマニュアル) で記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みください。



LBP6300 User Software

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。
 - アクセサリーなどの金属物
 - コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器
 これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。製品内部に入った場合は、直ちにプリンターとコンピューターの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください (2)。そのあと、電源プラグを抜いて (3)、アース線を取り外し (4)、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードが電源コンセント付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
- 電源コンセントに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
 - 電源コンセントのアース線端子
 - 接地工事 (D種) が行われているアース線端子
 - [アース線を接続してはいけないもの]
 - 水道管...配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
 - ガス管...ガス燃焼や火災の原因になります。
 - 電話線のアースや避雷針...落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- オプション品の取付け/取外しを行うときは、必ずプリンターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンターに接続されているすべてのインターフェイスケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

- くらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファ、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
 - 湿気やホコリの多い場所
 - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があがる場所
 - 雨や雪が降りかかるような場所
 - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
 - 直射日光にあたる場所
 - 高温になる場所
 - 火気に近い場所

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

商標について

Canon, Canonロゴ, LBP, NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。
FontGalleryは、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。
Apple, Macintoshは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
Microsoft, WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

各ソフトウェアの名称は、次の略称で記載しています。

- Microsoft Windows 2000 operating system: Windows 2000
- Microsoft Windows XP operating system: Windows XP
- Microsoft Windows Vista operating system: Windows Vista
- Microsoft Windows 7 operating system: Windows 7
- Microsoft Windows Server 2003 operating system: Windows Server 2003
- Microsoft Windows Server 2008 operating system: Windows Server 2008
- Microsoft Windows operating system: Windows